

桐生市歴史的風致維持向上計画が 国の認定を受けました

歴史的環境を活かしたまちづくりを推進するために策定した「桐生市歴史的風致維持向上計画」が国の認定を受けました。認定を受けたことで、計画をより円滑に進めることができます。

桐生市歴史的風致維持向上計画は、市ホームページに掲載しています。
問い合わせは、都市計画課歴史まちづくり係（☎内線348）へ。



牧野国土交通副大臣より認定証の交付を受ける亀山市長

後世に受け継ぐ歴史まちづくり

豊かな自然と歴史の中で育まれ発展してきた桐生市には「織物のまち」を背景に歴史的建造物や人々の営みが継承され、それらが織りなす趣や情緒を感じる歴史的風致があります。

その魅力を高め、後世に受け継ぐ歴史まちづくりを推進するため、「桐生市歴史的風致維持向上計画」を策定しました。

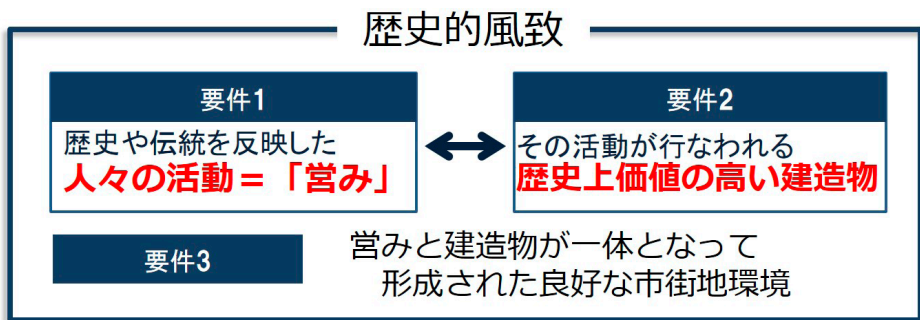


国の認定

「桐生市歴史的風致維持向上計画」は、平成20年に施行された「地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律」（通称、歴史まちづくり法）に基づき、平成29年12月18日付けで国（文部科学省、農林水産省、国土交通省）に認定申請を行い、平成30年1月23日に認定を受けました。全国では63番目、群馬県内

では甘楽町に続く2番目の認定です。
歴史的風致とは
地域固有の歴史や伝統を反映した人々の活動と、その活動が行われる歴史上価値の高い建造物およびその周辺の市街地とが一体となって形成してきた良好な市街地環境を言います。

歴史的風致とは



歴史的風致の概念

維持向上すべき歴史的風致

上毛かるたで「桐生は日本の機どころ」と詠まれているように、桐生は古くから「織物のまち」として発展してきました。

計画では、今でも続く織物産業や機神信仰を人々の活動として捉えた歴史的風致を軸として、先人が守り育ててきた次の4つの歴史的風致を取り上げていきます。

1 「織物のまち桐生」に見る歴史的風致

① 織物産業に見る歴史的風致
織物のまちとして発展した桐生市。各地に多く分布する機神神社やノコギリ屋根工場



織物産業

などの歴史的建造物を背景に機神信仰や織物産業が継承されています。

② 桐生祇園祭とるびす講に見る歴史的風致



桐生祇園祭

神社や歴史的町並みを背景に多くの人でにぎわう桐生祇園祭とるびす講。桐生の風物詩として、織物のまちに暮らす人々により継承されています。

2 桐生氏・由良氏ゆかりの地に見る歴史的風致

中世に統治した両氏ゆかりの梅田地域。館跡地に建つ薬師堂などの歴史的建造物を背景に地域住民による祭礼や保存活動が継承されています。



梅原薬師堂土用念仏

3 桐生地域の祭礼・行事に見る歴史的風致

① 賀茂神社に見る歴史的風致
全国でも珍しい演目が伝わる太々神楽。夜の闇に浮かぶ幻想的な火投げ祭「御篝神事」。県内有数の古社である賀茂神社を背景に地域住民により継承されています。



御篝神事

② 白瀧神社太々神楽に見る歴史的風致

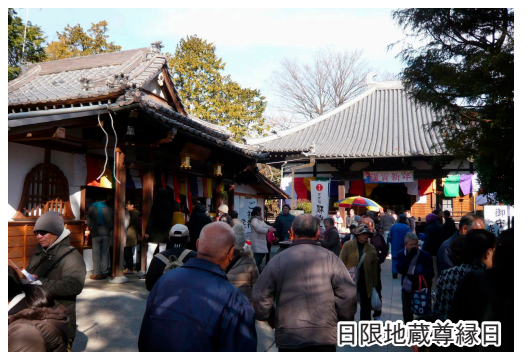
笛や太鼓の音を響かせ歴史的な風情を醸し出す太々神楽。桐生織物の発祥にゆかりの深い白瀧神社で地域住民により古くから継承されています。



白瀧神社太々神楽

③ 日限地藏尊縁日に見る歴史的風致

毎月24日に日限地藏尊観音院で行われる縁日は、多くの参詣者でにぎわいます。「お地藏様」と親しまれ、桐生の民間信仰の象徴として継承されています。



日限地藏尊縁日

4 黒保根地域の民俗芸能に見る歴史的風致

風光明媚な黒保根地域には、涌丸獅子舞と前田原獅子舞が神社などを舞台上に奉納されています。3匹の獅子が、勇壮に舞う姿が見られます。



涌丸獅子舞



趣のある山手通りと美和神社

歴史的風致の維持向上 における課題と方針

近年、少子高齢化や人口減少、生活の多様化により歴史的建造物の維持、祭礼行事の継続が困難になるなど、歴史的風致を取り巻く課題は山積んでいます。

- 計画では、これらの課題を踏まえ、歴史的風致の維持および向上に関する次の6つの方針を定めています。
- ① 歴史的建造物や歴史的町並みの保全と活用の促進
 - ② 歴史的建造物や歴史的町並みと調和する周辺環境の整備
 - ③ 伝統産業の保護育成

- ④ 伝統的な祭礼・行事の継承
- ⑤ 歴史まちづくりに対する市民意識の向上
- ⑥ 歴史や伝統文化の調査研究と情報発信の推進

重点区域

計画では、歴史的風致の維持および向上を効果的に図れるよう、桐生新町重要伝統的建造物群保存地区を核とした歴史的風致の範囲の重なる区域を重点区域に設定しています。



歴史の息吹を感じる酒屋小路

この重点区域を中心に、方針を踏まえた各種整備事業を、今後、10年間の計画期間内において実施します。

地域の歴史への関心を高め、ていくとともに、歴史的建造物の修理、歴史的な景観に配慮した道路整備、伝統的な祭礼行事の継承のための事業などに取り組みます。



ぎおんばやし 祇園囃子の練習風景

後世に歴史を継承するために

歴史的風致を守り、継承していくことは、良好で魅力的な景観形成や、観光や産業振興による地域の活性化など様々な効果が期待されます。

そのためには、市民の地域の歴史への関心や郷土への愛着を高めていくことが大切です。

それが、歴史まちづくりを進めていく上で大きな推進力となります。

市では、計画の策定をきっかけに、市民や関係団体などと連携しながら、本市固有の歴史的環境を活かしたまちづくりを推進し、「まちの魅力」を未来へ伝えていきたいと考えています。